

RYOBI

リョービ株式会社

2019年12月期第2四半期 決算説明会資料

(証券アナリスト、機関投資家向け)

2019年8月8日



目次

1. 決算のポイント	P.	3
2. 2019年12月期第2四半期 決算実績	P.	7
3. 2019年12月期 連結業績予想	P.	19
4. 今後の取組みと目標	P.	25

1. 決算のポイント



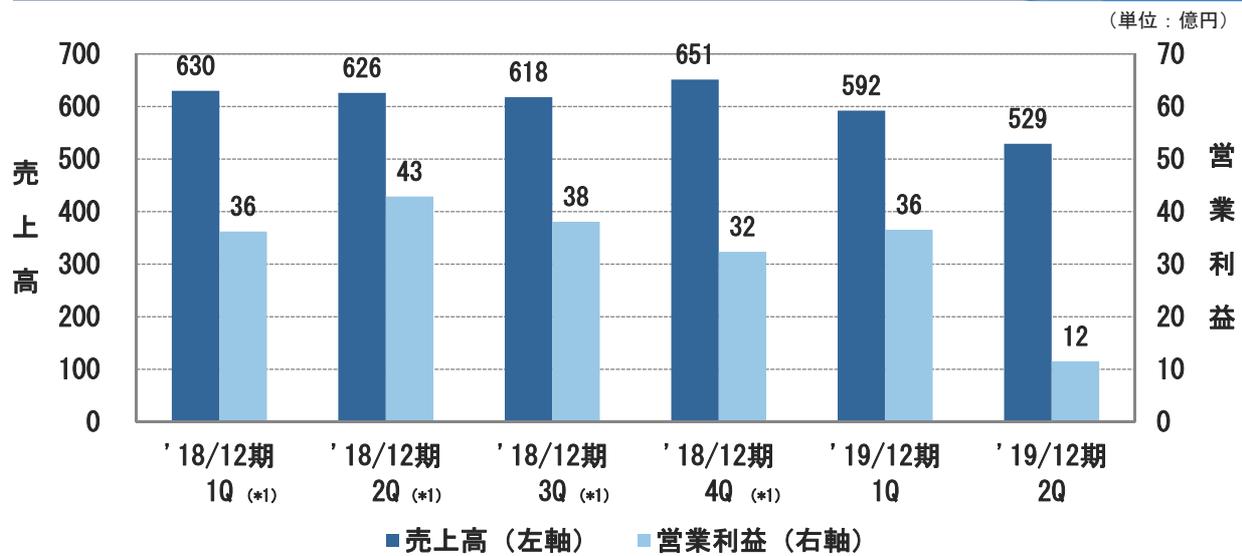
決算のポイント(1)

1. 決算のポイント

- **連結業績 減収・減益** (2018年12月期を2019年12月期実績の期間に合わせて比較した場合)
 - (ダイカスト)
国内売上は中国向け製品の受注が減少、海外売上は中国が減少し、
事業全体で減収・減益
 - (住建機器)
売上高はほぼ前年並み、利益は経費削減等で増益
 - (印刷機器)
国内はA1印刷機が減少、海外は米州・アジア向けの輸出が減少し、
減収・減益
- 2019年12月期業績予想を下方修正
- 旭テックアルミニウム（現 リョービ菊川工場）の吸収合併
- 利優比圧鑄（常州）へ増資を実施

決算のポイント(2)

四半期別業績推移



- '19/12期 1Qより、中国経済減速による売上高減少の影響有
- '19/12期 2Qに上記影響が本格化
- '19/4に中国で増値税引下げ等の景気対策が実施されたが、自動車販売回復の兆しは見えず

*1 '18/12期 各四半期は、'19/12期に合わせた期間の実績

5/50

決算のポイント(3)

業績予想の修正

(単位：億円)

	'18/12期	'19/12期			
	実績 (*1)	業績予想 (修正前)	業績予想 (修正後)	前期差 (前期比) (*2)	予想増減額 (予想増減率)
売上高	2,525	2,455	2,245	△280 (△11.1%)	△210 (△8.6%)
営業利益	150	111	81	△69 (△45.8%)	△30 (△27.0%)
経常利益	152	110	80	△72 (△47.4%)	△30 (△27.3%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	92	78	58	△34 (△36.9%)	△20 (△25.6%)

*1 '18/12期 実績は、'19/12期に合わせた期間（国内 12か月（'18/1-12）、海外 12か月（'18/1-12））の実績

*2 前期差・前期比は、'18/12期 実績との比較

6/50

2. 2019年12月期第2四半期 決算実績

決算期変更

2. 2019年12月期第2四半期決算実績

	2017年				2018年				2019年			
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
国内	'18/3期				'18/12期				'19/12期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		1Q	2Q	3Q	4Q
海外	'18/3期				'18/12期				'19/12期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		1Q	2Q	3Q	4Q

'19/12期 2Q

<調整後の2018年12月期>

	2017年				2018年				2019年			
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
国内	'18/3期				'18/12期 (調整後)				'19/12期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		1Q	2Q	3Q	4Q
海外	'18/3期				'18/12期				'19/12期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		1Q	2Q	3Q	4Q

'18/12期 2Q (調整後)

実績サマリー

(単位：億円)

	'18/12期 第2四半期	'19/12期 第2四半期		
	実績 (*1)	実績	前期差 (前期比) (*2)	業績予想 業績予想差 (業績予想比)
売上高	1,256	1,121	△135 (△10.7%)	1,220 △99 (△8.1%)
営業利益	79	48	△31 (△39.2%)	55 △7 (△12.6%)
経常利益	79	48	△31 (△39.1%)	54 △6 (△10.9%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	61	37	△24 (△39.8%)	39 △2 (△5.6%)

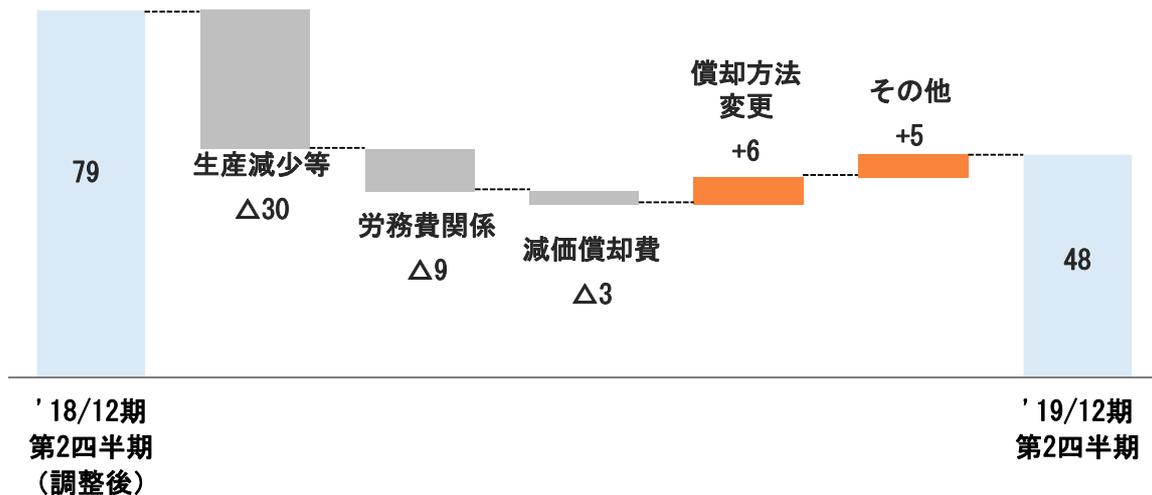
*1 '18/12期 第2四半期 実績は、'19/12期に合わせた期間（国内 6か月（'18/1-6）、海外 6か月（'18/1-6））の実績

*2 前期差・前期比は、'18/12期 第2四半期 実績との比較

9/50

営業利益増減要因

(単位：億円)



- ダイカスト事業の国内・中国の生産高減少による影響
- 固定費（主に労務費）の増加
- '18/4から国内の有形固定資産の償却方法を定率法から定額法に変更

為替レート（期中平均）

	'18/12期 第2四半期 (調整後)	'19/12期 第2四半期
米ドル	108.89円	109.71円
英ポンド	149.80円	142.22円
中国元	17.15円	16.18円
タイバーツ	3.44円	3.47円

為替が1%円高に変動した場合の年間営業利益への影響額

米ドル △80百万円
英ポンド △10百万円
中国元 +10百万円

10/50

セグメント別実績

(単位：億円)

	'18/12期 第2四半期	'19/12期 第2四半期			
	実績 (*1)	実績	前期差 (前期比) (*2)	業績予想	業績予想差 (業績予想比)
売上高	1,256	1,121	△135 (△10.7%)	1,220	△99 (△8.1%)
ダイカスト	1,057	953	△104 (△9.8%)	1,040	△87 (△8.4%)
住建機器	50	51	1 (1.0%)	50	1 (1.8%)
印刷機器	148	117	△32 (△21.3%)	130	△13 (△10.4%)
営業利益	79	48	△31 (△39.2%)	55	△7 (△12.6%)
ダイカスト	72	44	△27 (△38.2%)	53	△9 (△16.6%)
住建機器	1	2	1 (68.3%)	1	1 (145.8%)
印刷機器	6	1	△5 (△77.2%)	1	0 (39.4%)

*1 '18/12期 第2四半期 実績は、'19/12期に合わせた期間（国内 6か月（'18/1-6）、海外 6か月（'18/1-6））の実績

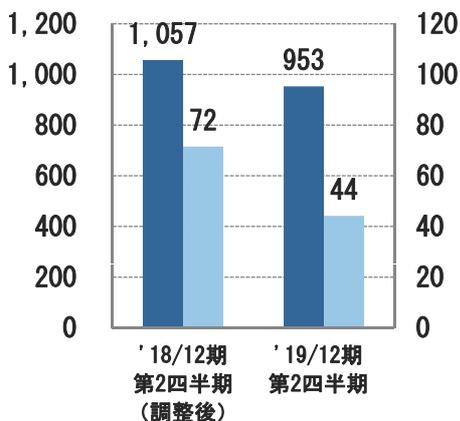
*2 前期差・前期比は、'18/12期 第2四半期 実績との比較

11/50

ダイカスト事業

売上高・営業利益の推移

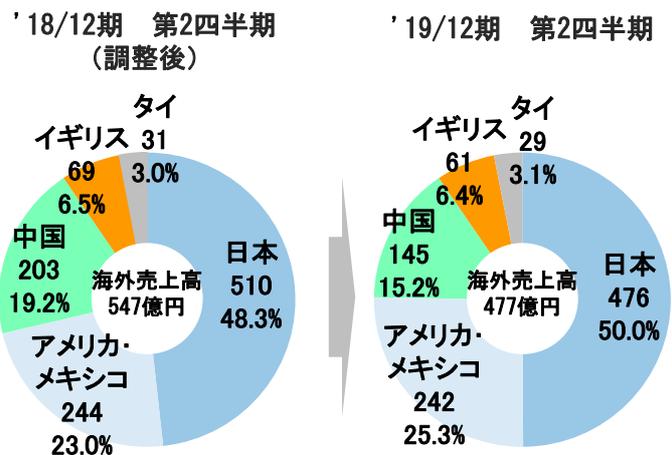
(単位：億円)



■売上高 (左軸) ■営業利益 (右軸)

地域別売上高

(単位：億円)



- 国内売上は中国向製品の受注が減少
- 海外売上は中国が減少、米国は前年同期で同水準
- 減収による影響を原価低減や生産性向上で補うことが出来ず減益

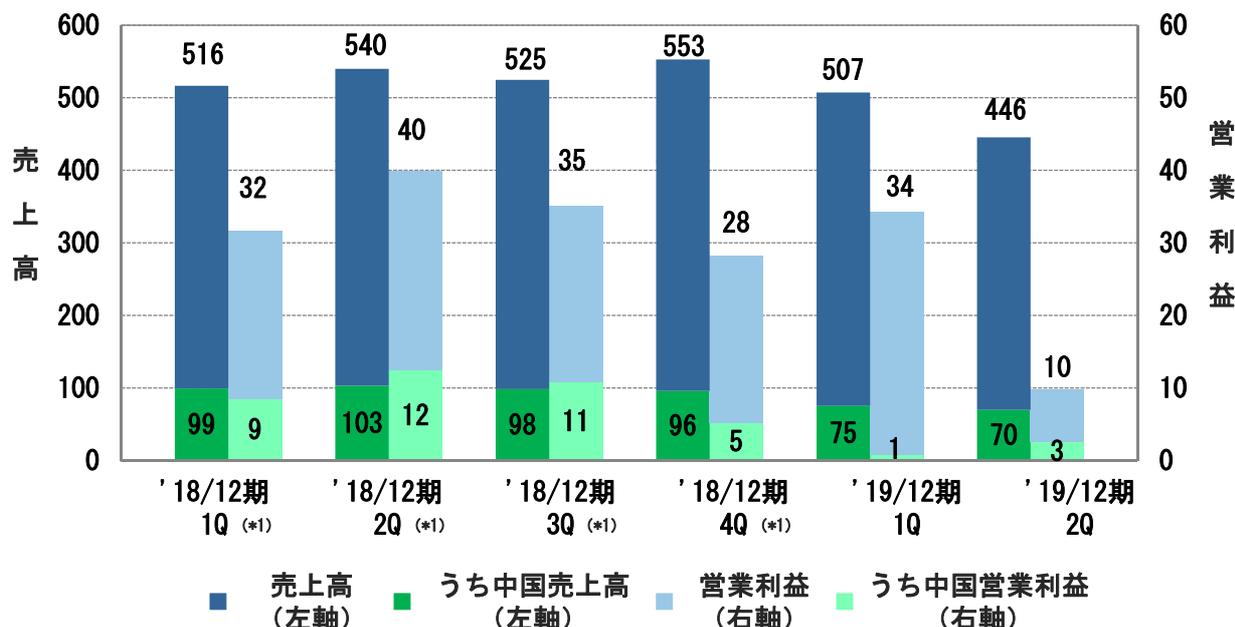
12/50

ダイカスト事業

2. 2019年12月期第2四半期決算実績

四半期別業績推移

(単位：億円)



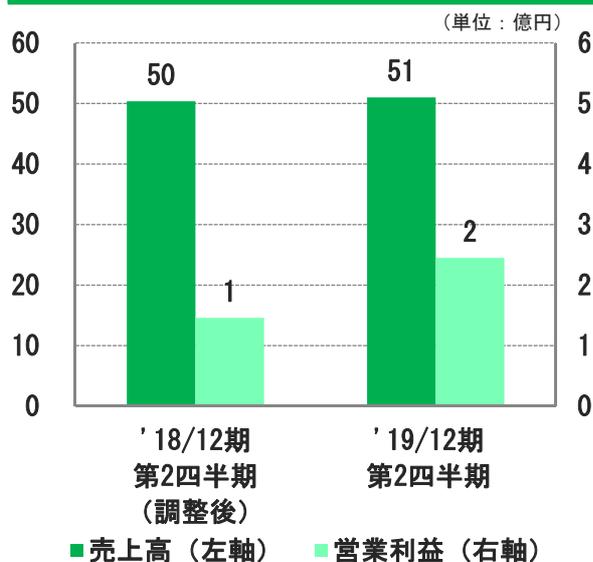
*1 '18/12期 各四半期は、'19/12期に合わせた期間の実績

13/50

住建機器事業・印刷機器事業

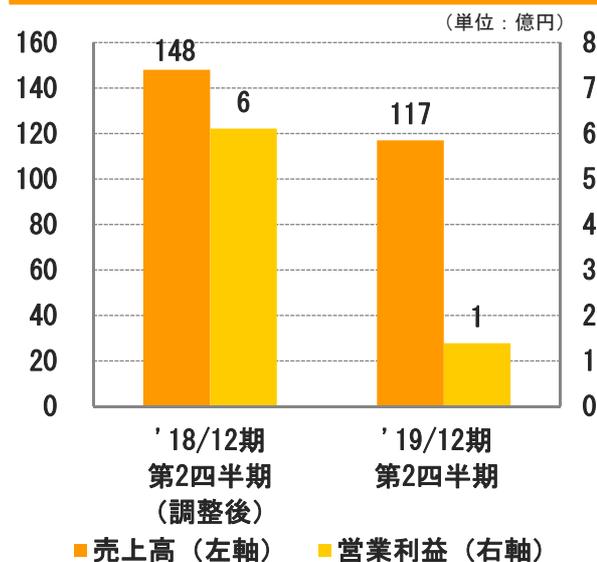
2. 2019年12月期第2四半期決算実績

住建機器事業—売上高・営業利益の推移



- 売上高はほぼ前期並み
- 経費削減・生産性向上により増益

印刷機器事業—売上高・営業利益の推移



- 国内 A1印刷機が減少
- 海外 米州、アジア向けの輸出が減少

14/50

貸借対照表

(単位：億円)

	'18/12期	'19/12期 第2四半期	増減	うち 為替影響		'18/12期	'19/12期 第2四半期	増減	うち 為替影響
流動資産	1,303	1,202	△101	△11	流動負債	1,009	980	△29	△8
現預金	208	241	33	△1	仕入債務	452	370	△82	△2
売上債権	584	447	△137	△5	短期借入金	323	344	21	△4
有価証券	8	8	△0	△0	その他	235	266	31	△1
棚卸資産	469	475	6	△5	固定負債	425	402	△23	△3
その他	35	32	△3	△0	長期借入金 (社債含む)	297	272	△25	△3
固定資産	1,387	1,454	68	△16	その他	129	131	2	△0
有形固定資産	1,123	1,183	60	△15	株主資本	1,148	1,180	32	△0
無形固定資産	35	36	1	△0	その他の包括 利益累計額	19	5	△14	△16
投資その他の 資産	229	235	6	△1	非支配株主持分	88	89	1	—
繰延資産	1	0	△0	—	純資産合計	1,255	1,275	20	△16
資産合計	2,690	2,657	△33	△27	負債・純資産 合計	2,690	2,657	△33	△27

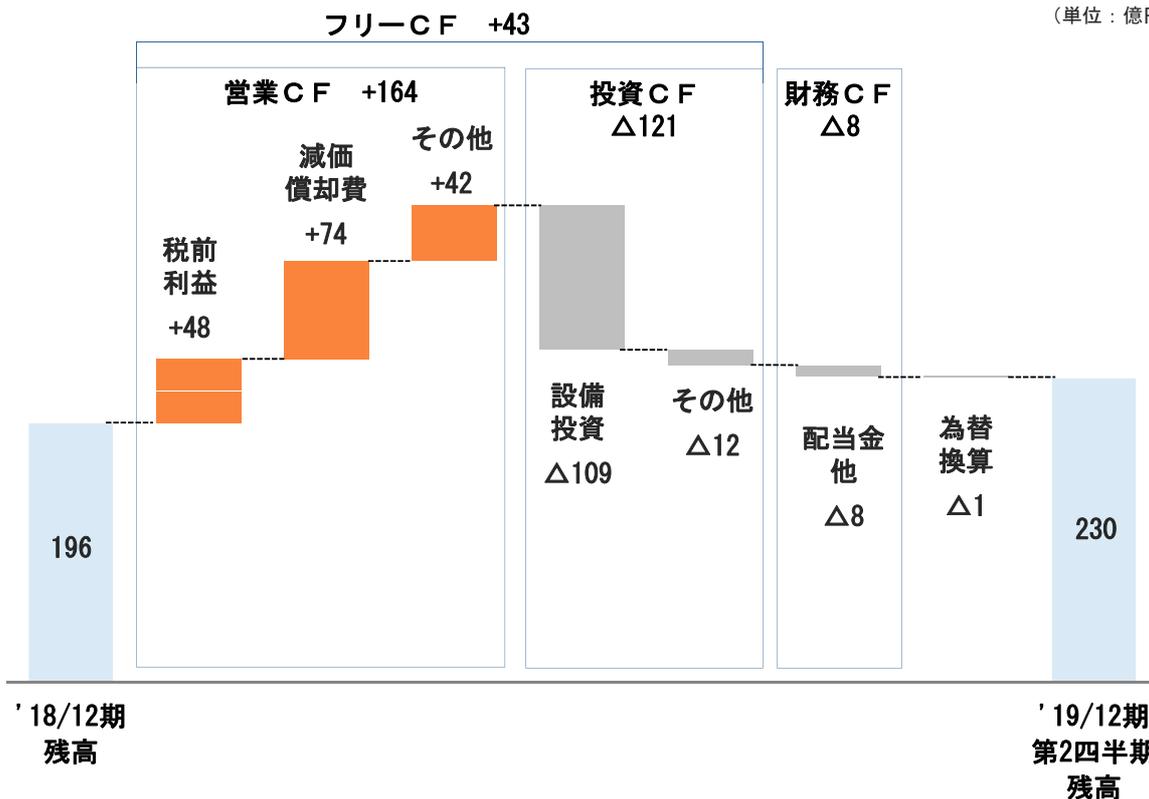
- 為替（円高）の影響も加わり、総資産は減少
- 売上高減少に伴い、売上債権・仕入債務が減少
- ダイカスト国内・海外（中国）を中心とした設備投資で有形固定資産が増加

為替レート（期末日）	米ドル	英ポンド	中国元	タイバツ
'18/12期	111.00円	140.46円	16.16円	3.41円
'19/12期 第2四半期	107.79円	136.57円	15.69円	3.50円

15/50

キャッシュフロー増減

(単位：億円)



16/50

3. 2019年12月期 業績予想



業績予想

3. 2019年12月期 業績予想

(単位：億円)

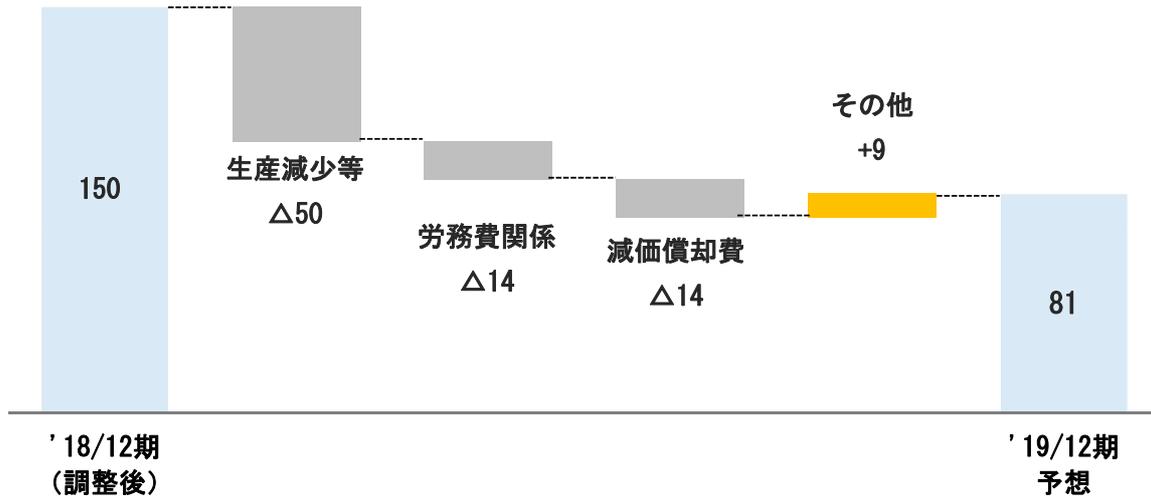
	'18/12期	'19/12期	
	実績 (*1)	業績予想 (修正後)	前期差 (前期比) (*2)
売上高	2,525	2,245	△280 (△11.1%)
営業利益	150	81	△69 (△45.8%)
経常利益	152	80	△72 (△47.4%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	92	58	△34 (△36.9%)

*1 '18/12期 実績は、'19/12期に合わせた期間 (国内 12か月 ('18/1-12)、海外 12か月 ('18/1-12)) の実績

*2 前期差・前期比は、'18/12期 実績との比較

営業利益予想増減要因

(単位：億円)



- ダイカスト事業の国内・中国の生産高減少影響で減益
- 固定費（主に労務費）の増加

為替レート

	'18/12期 (期中平均)	'19/12期 想定レート	為替が1%円高に変動した場合の年間営業利益への影響額
米ドル	110.61円	108円	米ドル Δ80百万円
英ポンド	147.80円	135円	英ポンド Δ10百万円
中国元	16.78円	15.5円	中国元 +10百万円
タイバーツ	3.43円	3.4円	

19/50

セグメント別業績予想

(単位：億円)

	'18/12期	'19/12期			
	実績 (*1)	業績予想 (修正前)	業績予想 (修正後)	前期差 (前期比) (*2)	予想増減額 (予想増減率)
売上高	2,525	2,455	2,245	Δ280 (Δ11.1%)	Δ210 (Δ8.6%)
ダイカスト	2,134	2,080	1,900	Δ234 (Δ11.0%)	Δ180 (Δ8.7%)
住建機器	104	105	105	1 (0.8%)	— (—%)
印刷機器	285	270	240	Δ45 (Δ15.7%)	Δ30 (Δ11.1%)
営業利益	150	111	81	Δ69 (Δ45.8%)	Δ30 (Δ27.0%)
ダイカスト	135	100	73	Δ62 (Δ45.9%)	Δ27 (Δ27.0%)
住建機器	4	5	5	1 (15.4%)	— (—%)
印刷機器	10	6	3	Δ7 (Δ70.9%)	Δ3 (Δ50.0%)

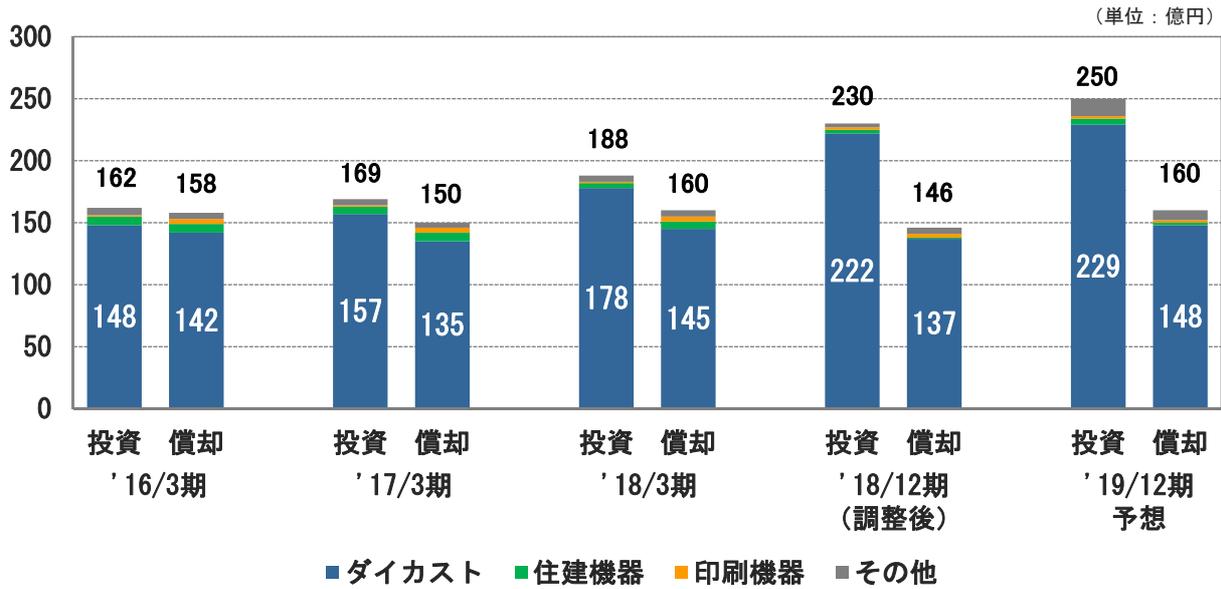
*1 '18/12期 実績は、'19/12期に合わせた期間（国内 12か月（'18/1-12）、海外 12か月（'18/1-12））の実績

*2 前期差・前期比は、'18/12期 実績との比較

20/50

設備投資・減価償却費

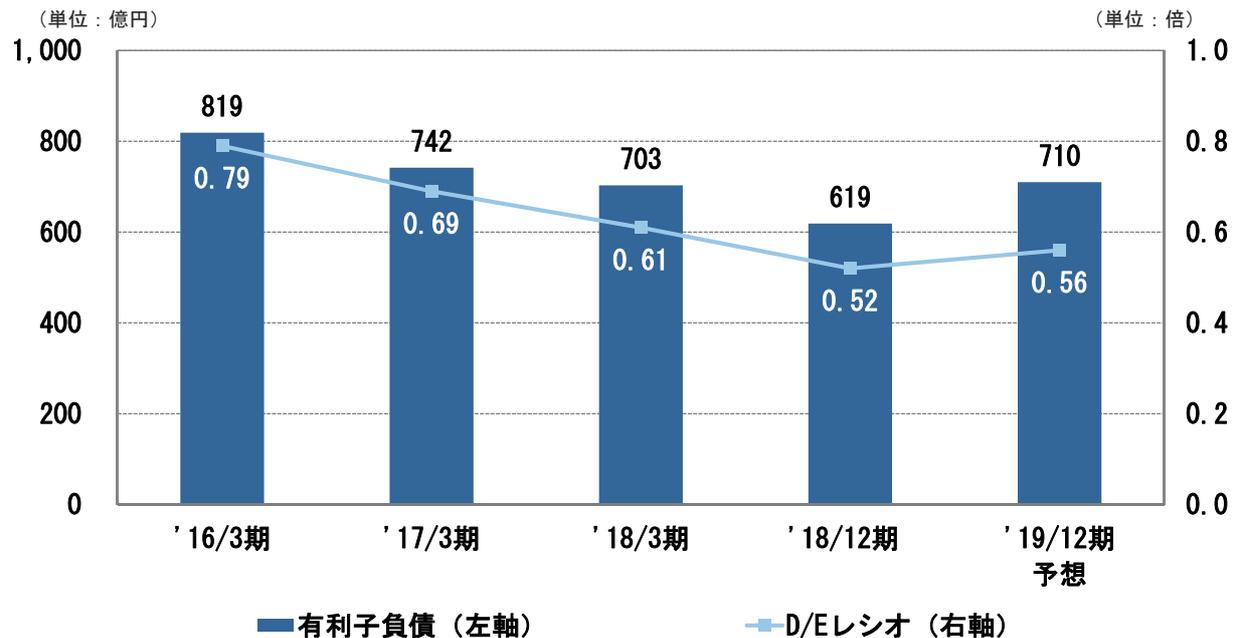
設備投資・減価償却費の推移



➤ '18年4月より、国内の有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更

有利子負債・D/Eレシオ

有利子負債・D/Eレシオの推移



	'16/3期	'17/3期	'18/3期	'18/12期	'19/12期 第2四半期
借入金依存度 (有利子負債/総資産)	30.9%	28.2%	25.8%	23.0%	23.2%

4. 今後の取組みと目標



当社を取り巻く環境

4. 今後の取組みと目標

<マクロ環境>

日本経済

- 消費増税
- 東京五輪開催
- 少子高齢化

世界経済

- 関税
- 米中貿易摩擦
- ブレグジットの動向

社会・環境

- AI、IoT活用
- 働き方改革の推進
- 環境負荷対応

<当社の事業環境>

ダイカスト事業

- 米中貿易摩擦、新NAFTA (USMCA) の影響
- 新興国を中心とした自動車販売の増加
- 燃費規制により軽量化ニーズ (材料置換・薄肉化) の高まり
- C A S Eの進展 (Connected/接続、Autonomous/自動、Shared/共有、Electric/電動)

住建機器事業

- ドアクローザ市場は微減
- 同業他社のドアクローザビジネス撤退

印刷機器事業

- 枚葉オフセット印刷機市場は微減
- デジタル印刷は増加傾向
- パッケージ印刷を中心に高付加価値印刷は堅調
- 国内の人手不足、新興国の人件費高騰

事業戦略骨子

<企業理念>

技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。

<事業戦略骨子>

ダイカスト事業

- 営業力の強化
- 技術開発力の強化（軽量化・材料置換対応）
- グローバル生産体制の強化
- 生産設備の自動化展開

住建機器事業

- 国内ドアクローザ市場でのシェア拡大
- 競争力のある商品開発
- 最適生産体制の推進

印刷機器事業

- 商品力の強化
- 販売・サービスの強化
- 製造力強化と生産性向上

25/50

ダイカスト事業 — 業界動向

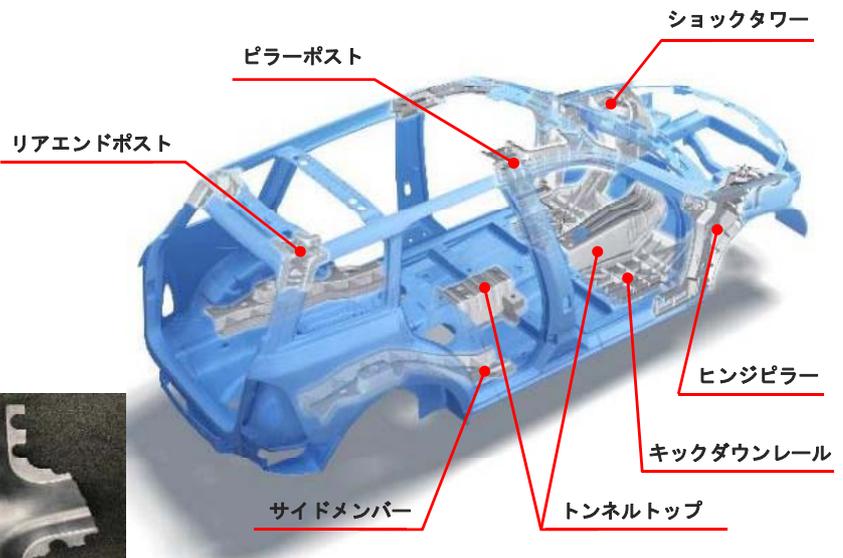
電動化・軽量化への取組み

ボディ・シャシーの剛性向上・軽量化

リアエンドポストのアルミダイカスト化（開発中）



寸法 (mm)
400 × 355 × 170



26/50

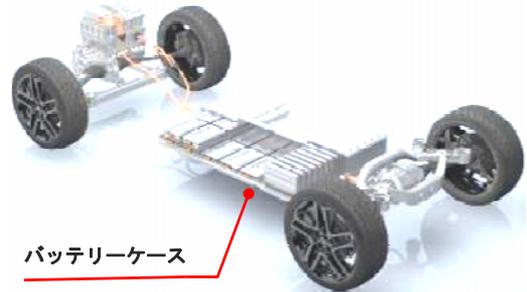
ダイカスト事業 - 業界動向

電動化・軽量化への取組み

バッテリーケースのアルミダイカスト化（開発中）



底板付一体型
寸法 (mm)
1,220×550×170



バッテリーケース



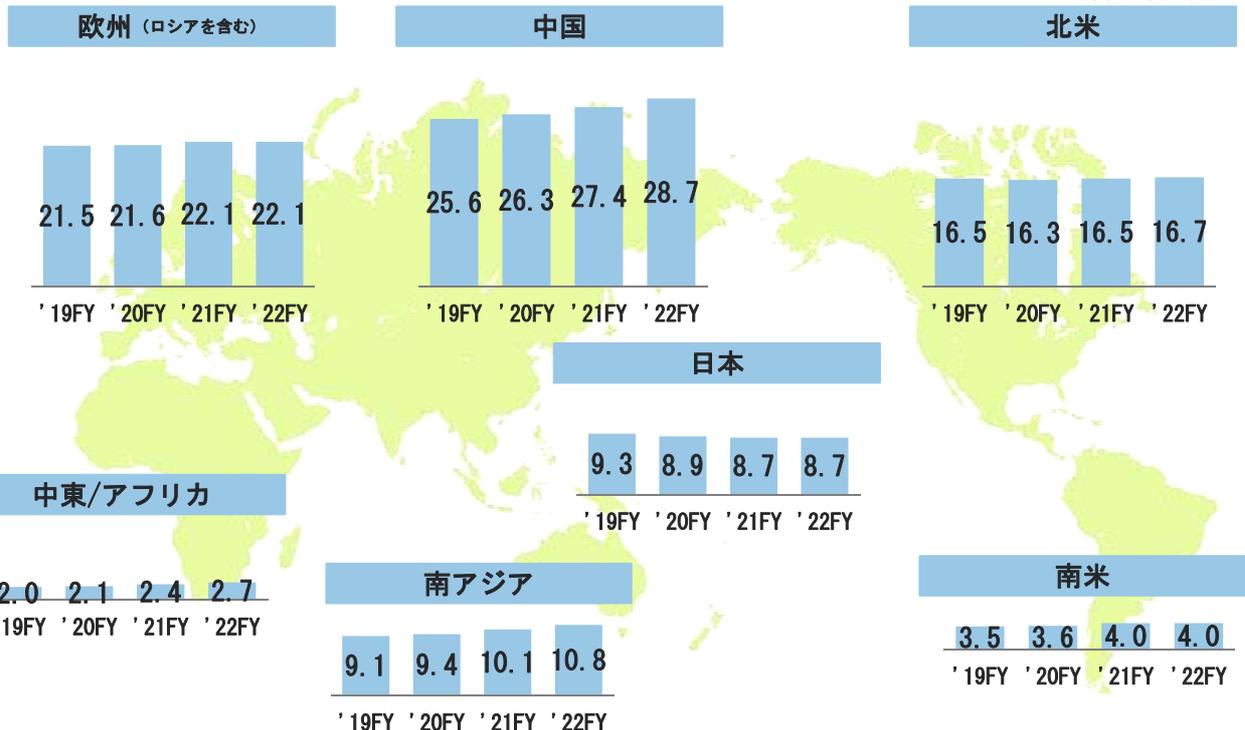
底板付溶接3連品
1,220×1,812×150

底板無し一体型
1,300×900×150

ダイカスト事業 - 業界動向

地域別自動車生産台数予測

(単位：百万台)



(出典：2019年7月IHS予測)

ダイカスト事業 – 主な取組み

地域別取組み一覧

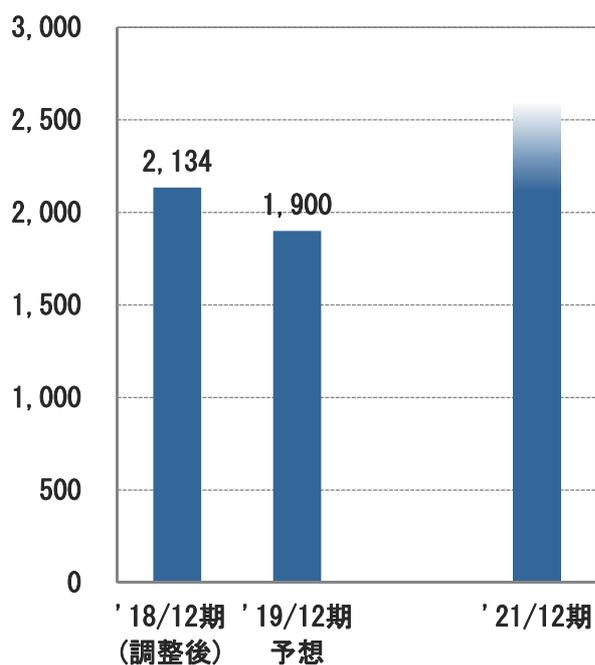
取組み内容	日本	アメリカ・メキシコ	中国	イギリス	タイ
営業力の強化	◎	◎	◎	◎	○
技術開発の強化	◎				
生産性の向上	○	○	○	○	○
グローバル生産体制の強化	◎	○	○	○	○
環境への配慮	○	○	○	○	○

29/50

ダイカスト事業 – 売上高・設備投資

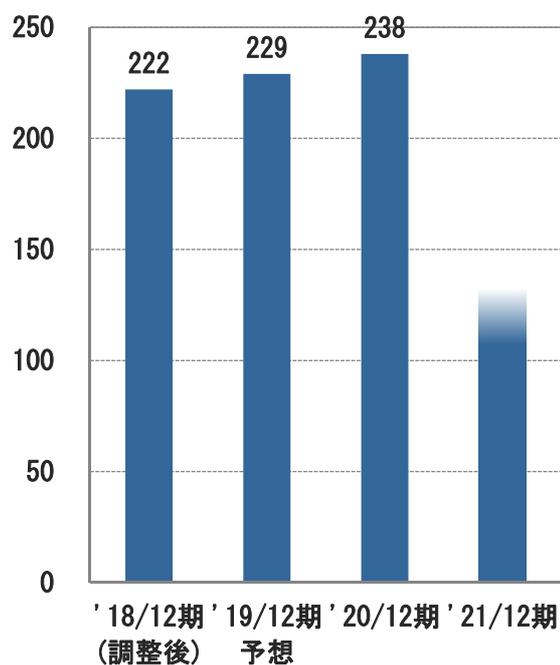
売上高の見通し

(単位：億円)



設備投資の見通し

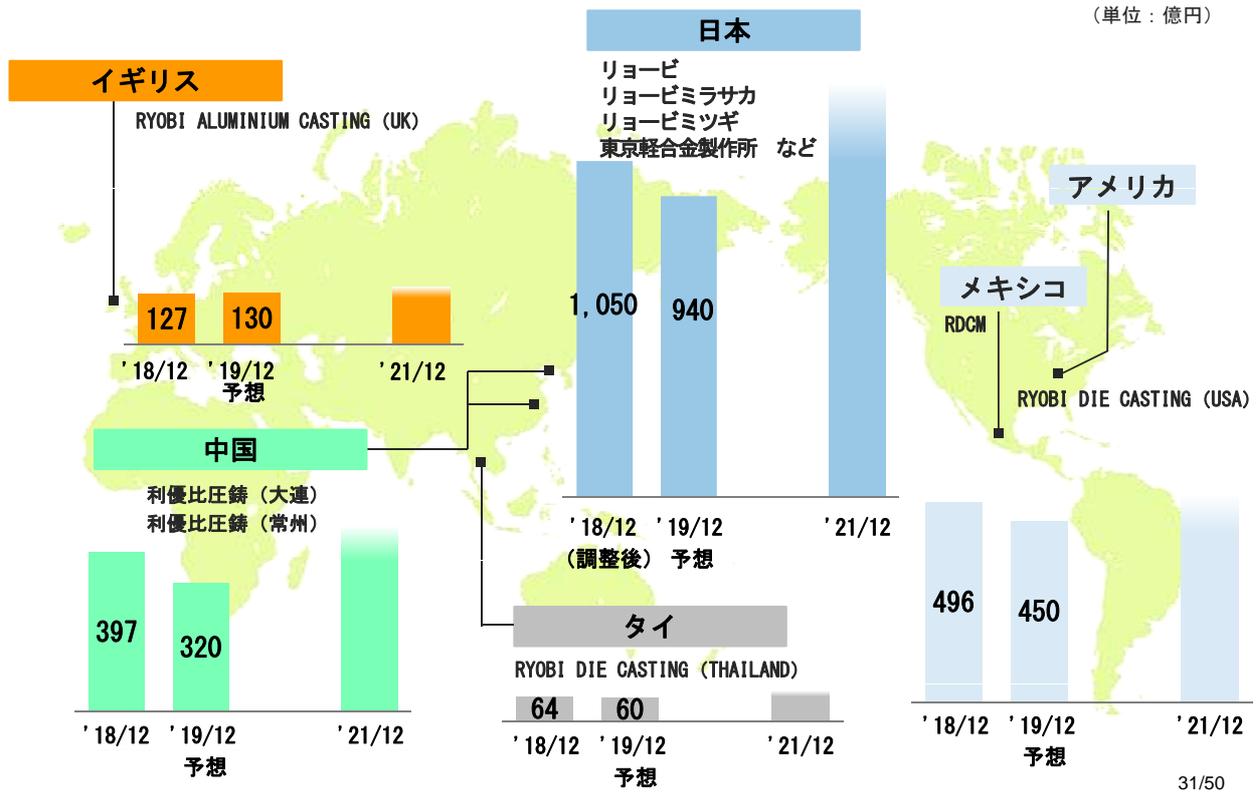
(単位：億円)



30/50

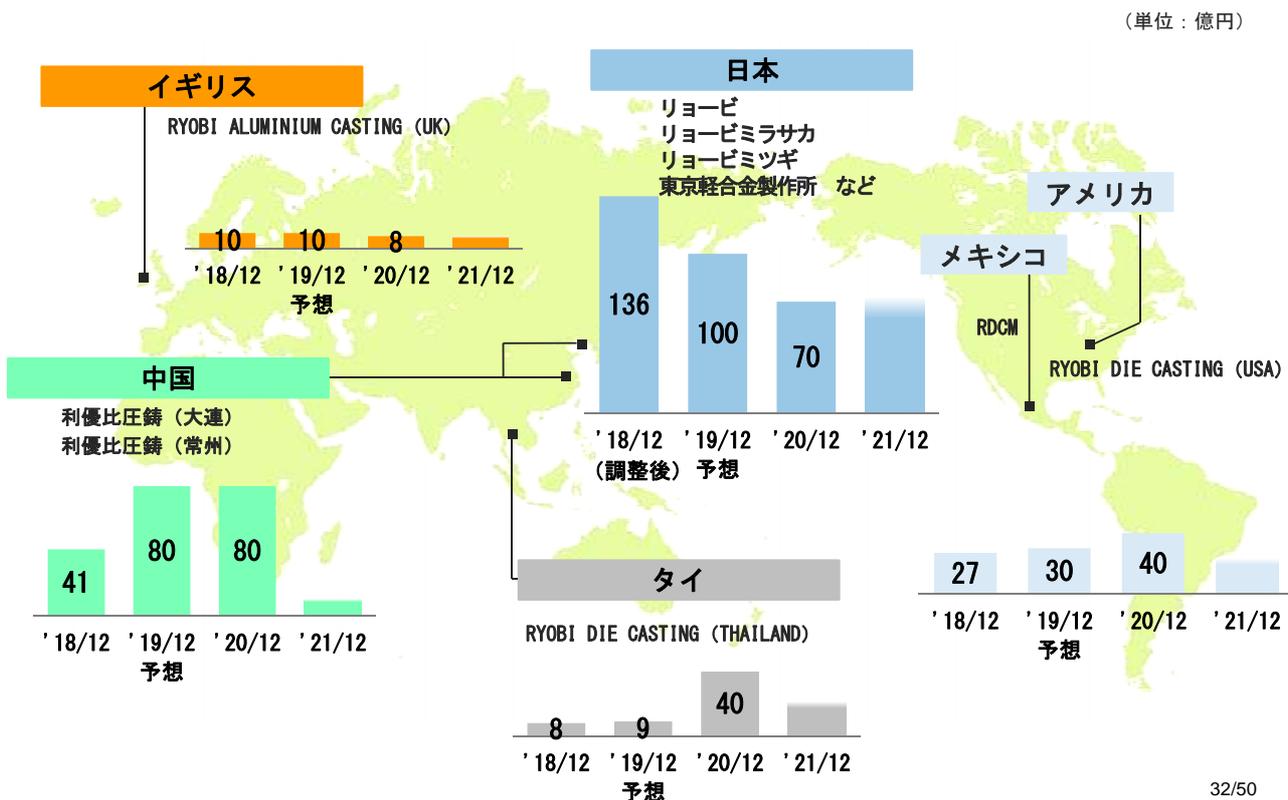
ダイカスト事業 - グローバル展開

地域別売上高



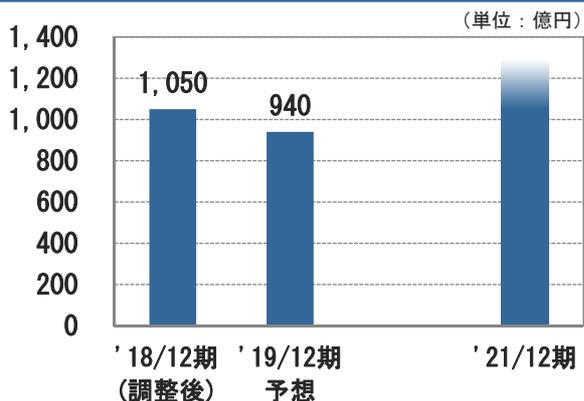
ダイカスト事業 - グローバル展開

地域別設備投資実績・予想



ダイカスト事業 - 国内

売上高の見通し



事業環境

- 2018年後半からの中国自動車マーケットの減速により国内メーカーの中国向生産が減少
- 軽量化・電動化ニーズの高まり

主要な取組み

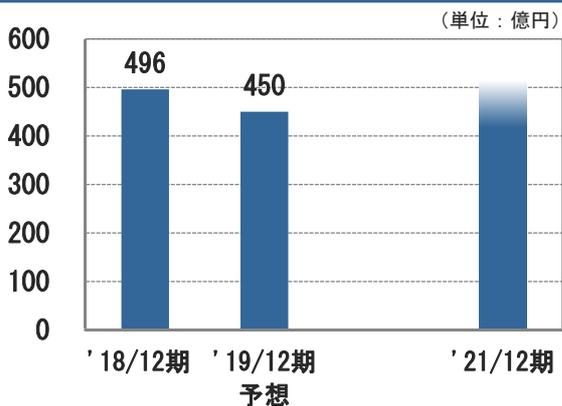
- 戦略製品の新規品受注獲得
- 戦略製品の工法開発
- 製品供給体制の強化
- 自動化の推進



リョービ 菊川工場

ダイカスト事業 - アメリカ・メキシコ

売上高の見通し

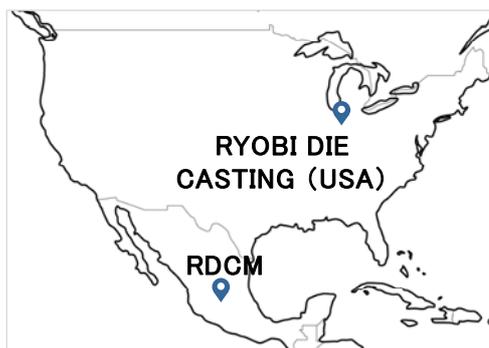


事業環境

- 好調な経済と低い失業率が需要を下支えしている状況が継続
- セダン車の減少、SUV/トラック車の増加の動きが鮮明
- 新車投入や利下げ効果で年後半は需要増の見通しもある
- トランプ関税対応で一部にメキシコ生産見直しの動き
- 多段化 (8速、10速) 拡大

主要な取組み

- 戦略製品の受注獲得
- ボディー・シャシーの供給体制の確立



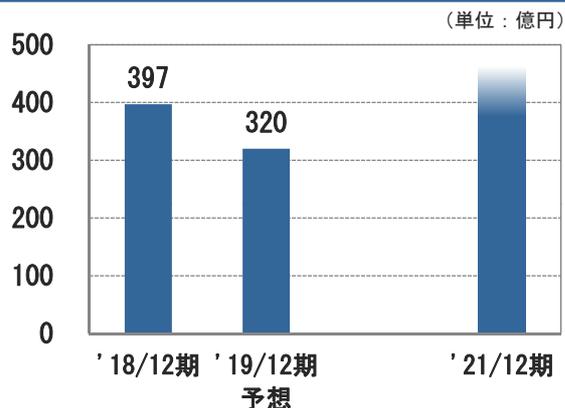
RYOBI DIE CASTING (USA)



RDCM

ダイカスト事業 - 中国

売上高の見通し



事業環境

- 2018年後半からの自動車販売減速が継続中
- 増値税引下げ等でも反転の気配なし
- 米中貿易摩擦の長期化
- 中長期的な自動車生産は増加していく見通し

主要な取組み

- 優良顧客との関係強化と拡販
- ボディー・シャシーの供給体制の確立



利優比压铸(大連)

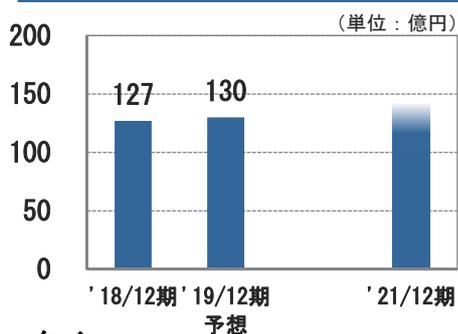


利優比压铸(常州)

ダイカスト事業 - イギリス・タイ

イギリス

売上高の見通し



- ### 事業環境
- 欧州全体での自動車生産は中期的に微増
 - Brexitの動向

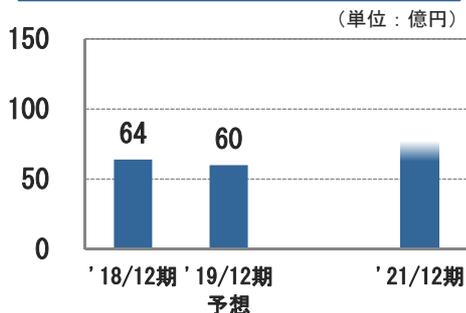
- ### 主要な取組み
- 生産性の向上
 - 生産体制の整備



RYOBI ALUMINIUM CASTING (UK)

タイ

売上高の見通し



- ### 事業環境
- 中期的に南アジアの自動車生産伸び率は継続的に拡大

- ### 主要な取組み
- 生産体制の増強
 - ボディ・シャシー供給体制の確立



RYOBI DIE CASTING (THAILAND)

ダイカスト事業 — 主な設備投資

4. 今後の取組みと目標

リョービ 菊川工場 (旧 旭テックアルミニウム)



内容 鋳造機2500^t、2台、加工設備等
 予定金額 21億円 稼働予定 '19/10

リョービミラサカ



内容 熱処理工場建設(床面積 6,700^m²)
 鋳造機2500^t、3台、加工設備等
 新規品(ボディ部品)対応
 予定金額 47億円 稼働予定 '21/1

利優比圧鋳 (常州)



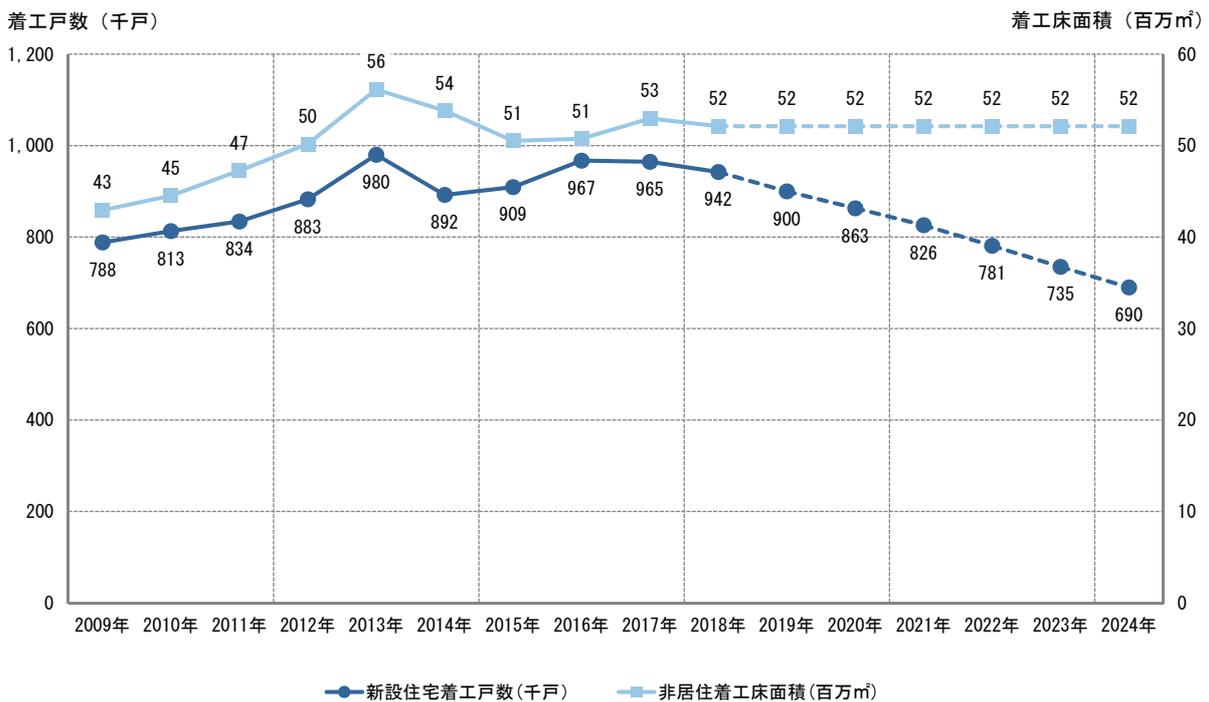
内容 第三工場建設(赤線部分)
 (床面積 15,000^m²)
 鋳造機 2500^t、2台・3500^t、2台、
 加工設備等
 新規品(シャシー部品)対応等
 予定金額 70億円 竣工予定 '20/5

生産能力増強・戦略製品対応設備の導入により、顧客の幅広いニーズに対応

住建機器事業 — 業界動向

4. 今後の取組みと目標

国内市場推移の予測



(出典 実績：国土交通省建築着工 統計調査報告書、2019年以降は当社調べ)

住建機器事業 — 取組み

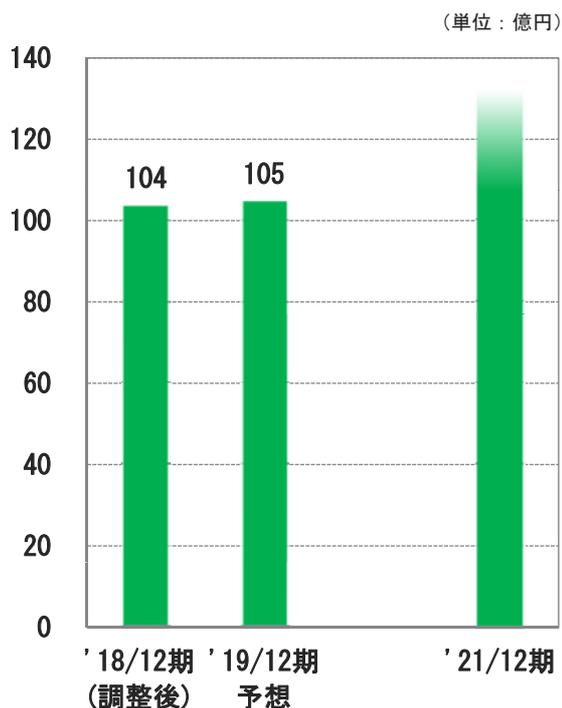
事業環境

- ビル（非居住）着工床面積は横ばい、新設住宅着工戸数は年平均5%程度減少
- ドアクローザ市場、引戸クローザ市場は緩やかに縮小を続ける
- 同業他社のドアクローザビジネスからの撤退

主要な取組み

- 当社品の指名獲得
- 受注平米数の拡大
- 電動開閉装置の市場開拓
- 新商品開発による商品ラインナップの充実
- 自動化設備の導入
- フレキシブルな生産体制の確立

売上高の見通し



住建機器事業 — トピックス

「KENTEN 2019」に出展 (2019年6月6日～7日 インテックス大阪)

「ドア開閉装置RUCAD (ラクアド)」を展示し、当社の新しい技術をPR



ドア開閉装置RUCAD (ラクアド) を紹介

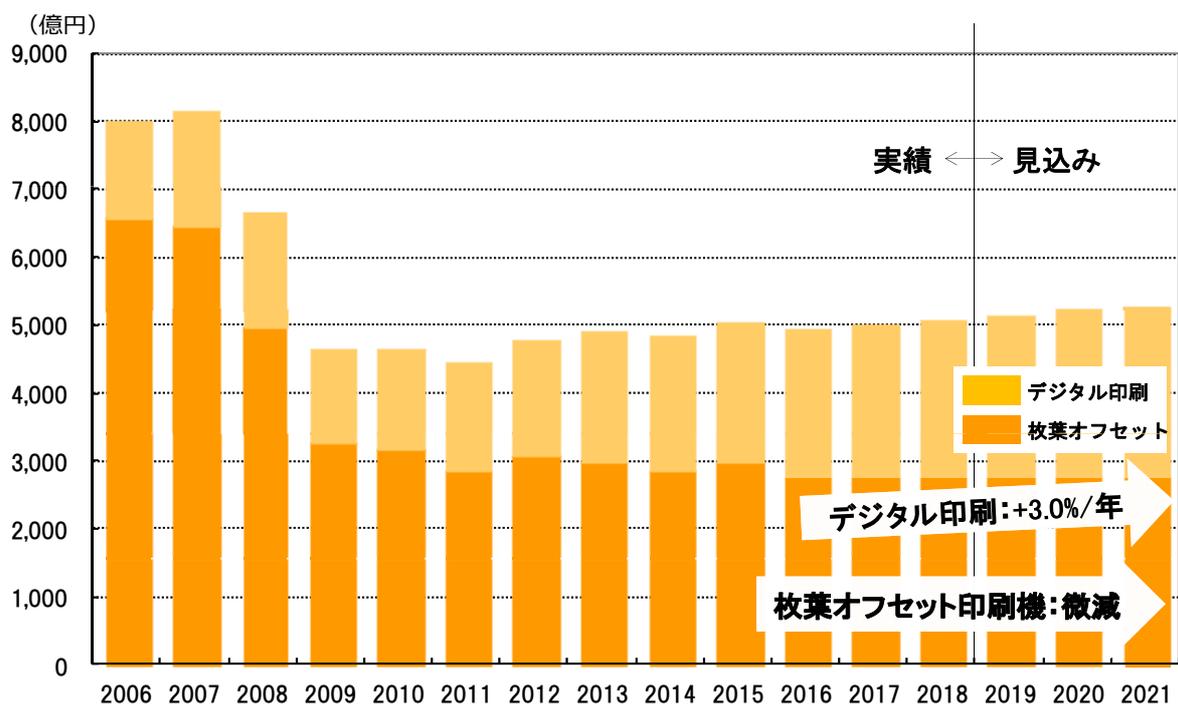


リョービドアクローザの歴史を紹介



印刷機器事業 — 業界動向

世界の枚葉印刷機市場（全サイズ）



(当社調べ 2019年3月)

印刷機器事業 — 取組み

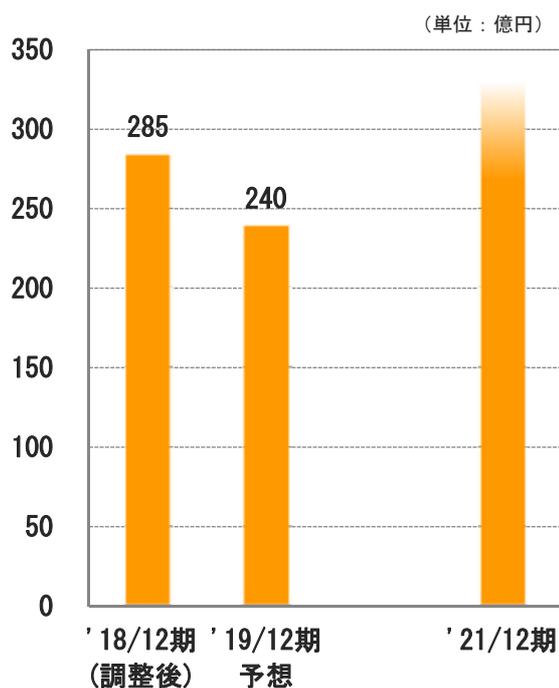
事業環境

- オフセット印刷機市場は微減、デジタル印刷機市場は増加傾向続く
- 国内は人員不足、新興国は人件費高騰により自動化・省力化ニーズが高まりつつある
- 大型機の国内稼働台数が減少
- パッケージ市場は堅調

主要な取組み

- 印刷機の基本性能向上
- 印刷機ラインナップの充実
- IoT、RMSウェアラブルを利用したサービス
- 販促企画の実施
- 海外販売サービス（サポート）の強化
- 製造コスト低減、工場IoT化による生産性向上
- 海外調達品の拡大

売上高の見通し



印刷機器事業 – トピックス

印刷品質管理システム（自動化・省力化）



- 印刷機上のCCDカメラで印刷中の用紙を撮影し、印刷物に問題がある場合は自動で制御・調整を行うことが可能
- 印刷会社から顧客へ納品する際の不良品混入を低減し、品質保証能力強化をサポート

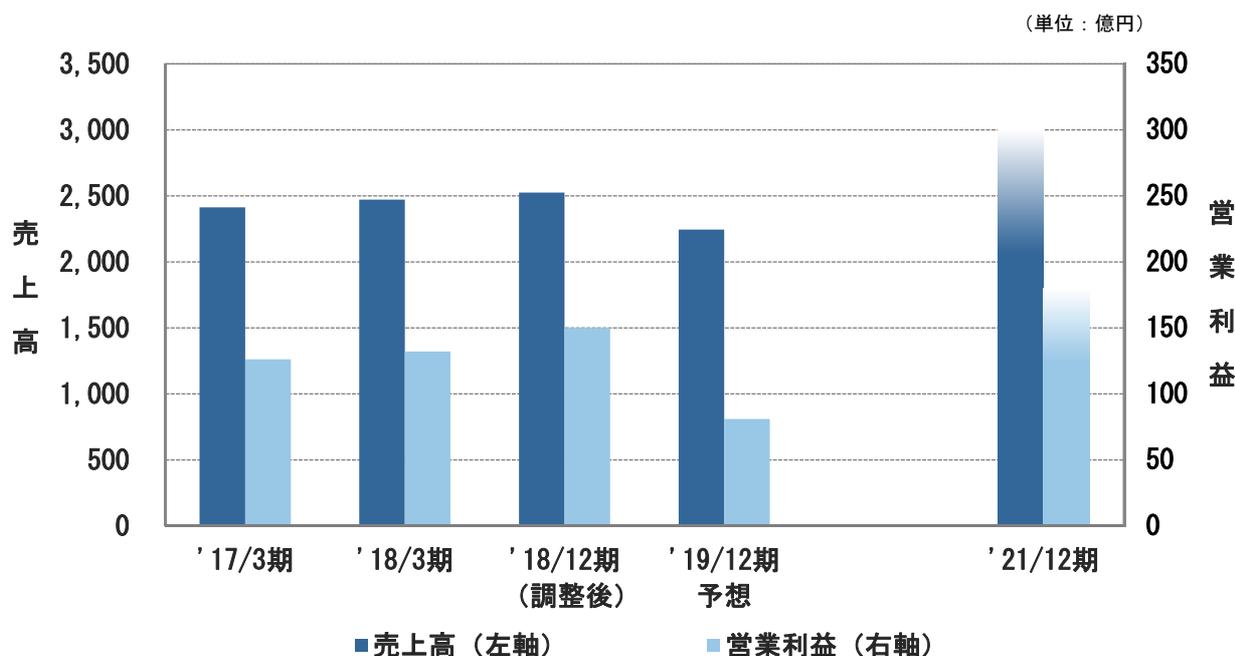
「Print China 2019」に出展（2019年4月9日～13日 中国 広東省）



PRINT CHINAはアジア最大規模の国際印刷機材展

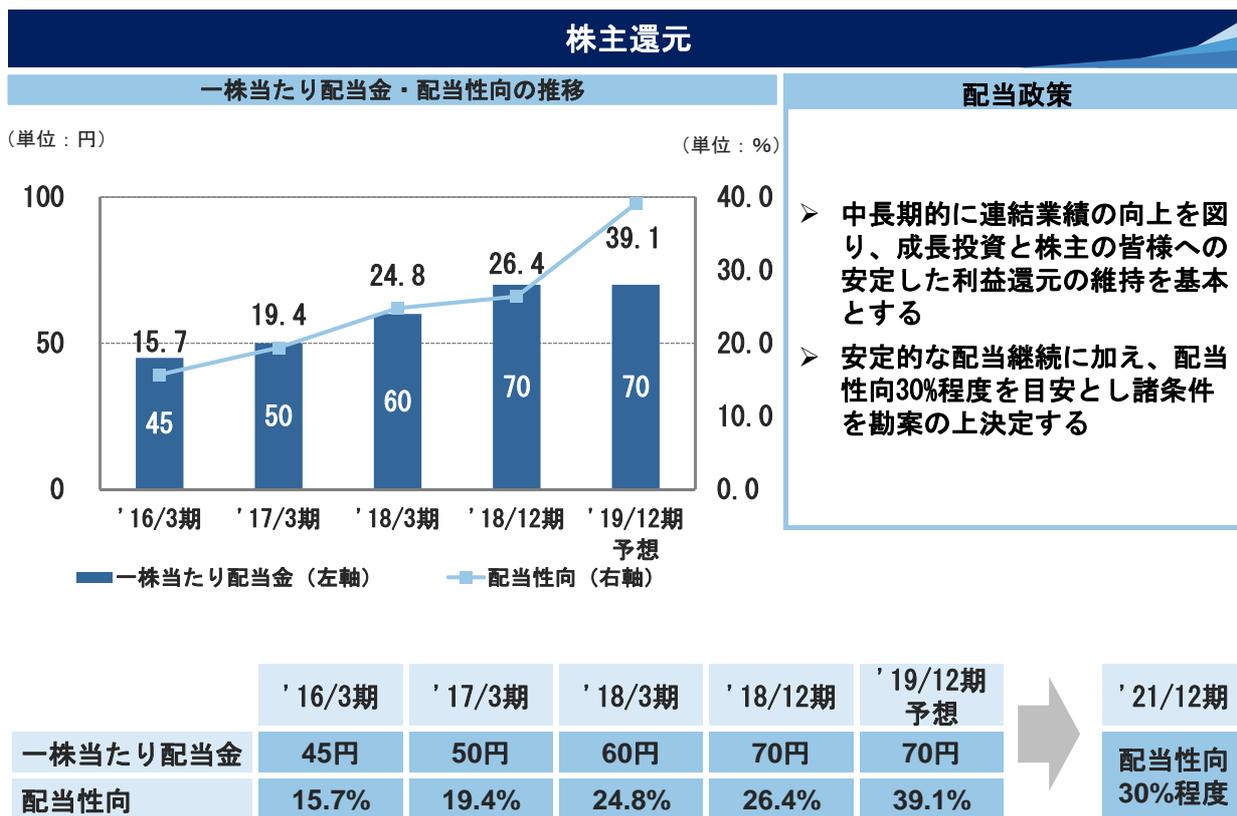
LED-UV乾燥装置を搭載した菊全判オフセット印刷機「RMGT 10」とA全判オフセット印刷機「RMGT 9」を出品し、高い印刷品質と優れた生産性をPRした

業績目標



	'17/3期	'18/3期	'18/12期 (調整後)	'19/12期 予想	'21/12期 目標
営業利益率	5.2%	5.3%	5.9%	3.6%	6.0%超

株主還元



SDGsへの取組み

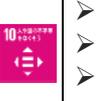
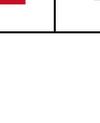
重点的な取組みを進めている目標

5 ジェンダー平等を実現しよう 	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	6 安全な水とトイレを世界中に 	すべての人に水と衛生へのアクセスと接続可能な管理を確保する
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	8 働きがいも経済成長も 	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る	12 つくる責任 つかう責任 	持続可能な消費と生産のパターンを確保する

* 「エンパワーメント」とは活躍支援の意味。

* 出典：国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所

SDGsへの取組み

重要テーマ	対応する 主なSDGs目標	具体的な取組み
地球環境 への配慮	  	<ul style="list-style-type: none"> ▶ アルミダイカスト製品の拡販 ▶ CO2削減 ▶ 水資源の効率利用 ▶ 廃棄物削減 ▶ 有害物質削減への取組み ▶ 省エネ・軽量化ニーズの対応 ▶ リサイクルの推進 
技術革新		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新たな技術・素材による新商品開発 ▶ 自動化・省力化ニーズに対応した新商品・サービス  
働き方改革 の推進	  	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ダイバーシティの推進 ▶ 多様な働き方の推進 ▶ 健康経営の推進 
その他社会的 要請への対応	    	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 雇用の創出 ▶ 技術の継承 ▶ 法令遵守 ▶ 企業理念の徹底 

新コーポレートメッセージ

できたらいいなの、その先へ。



社員一人ひとりが、新しい目標に
勇気を持って挑戦していく精神



お客様の想いを実現して、
より良い明日を築く行動力



新コーポレートメッセージ

新聞広告（全5段 カラー）

RYOBI

できたらいいなの、その先へ。

どんなに斬新な製品やテクノロジーも、人が描く夢や理想から生まれます。
リョービの考えるものづくりは、そんな夢や理想を、
「できたらいいな」をカタチにすること。
より良いカタチをひたむきに追い求めたその先に、
私達が目指す理想のものづくりがあると信じて、
リョービは「できたらいいな」の「その先」を目指しています。

ダイアローグ
自動車部品
ソフトセット
自動車部品
ダイアローグ
自動車部品

リョービ株式会社 | ダイカスト | 建築用品 | 印刷機器 | 本社 9726-6628 広島県府中市日輪町762 TEL:0847-41-1111 FAX:0847-43-6111
東京支社 1114-8518 東京都北区豊島5-2-8 TEL:03-3927-5541 FAX:03-3927-2906 <http://www.ryobi-group.co.jp/>

マツダスタジアム バックネット広告



49/50

将来予測に関する注意事項

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。